



## なんだか、みんなと心が一つになった気がする

校長 渡邊 正博

11月は音楽の月でした。

- ①11月7日(木)第3回定期演奏会(本校体育館)
- ②11月17日(日)第7回兼山ふれあいまつり(兼山地区センター)
- ③11月21日(木)6年生金管引退式(本校体育館)

今年子ども達が奏でる♪兼山の音♪が兼山のまちに広がりました。来場いただいた保護者・地域の方々にバンドリーダーが語りかけました。「私たちの演奏はどうでしたか？」会場から大きな拍手、「ブラボー！」の声援をいただきました。それにバンドリーダーは応えました。「ありがとうございます。みなさんの拍手・声援が私たちの自信と笑顔の“もと”になります。」

引退式で6年生が語りました。「…うまく演奏できなくてもあきらめずに続けられたのは、自分を支えてくれた仲間がいたからです。」「4・5年生のみなさん、一緒に演奏できて楽しかったよ。」また、お世話になった上級生(中学生)との思い出を語る場面もありました。そして、新メンバー3年生を安心させるメッセージも。

冒頭の言葉は、②の振り返りで綴られた6年生の言葉です。仲間と一緒に目標に向かって努力を続けた人が味わうことができる肌感覚です。子どもたちの成長を感じた言葉です。演奏者と聴衆、子ども達と職員・保護者・地域の方々、同じ場所で一緒に時間を過ごしたみんなの心が一つになったと解釈しました。想いが詰まった演奏でした。音楽に真摯に向き合う練習の日々を回想しました。

約50年続く金管バンド活動。楽器や形態を状況に合わせて変化・進化させながら、これからも後輩がつなぎます。兼山小で学ぶ子どもたちにご期待ください。みんな(子ども・保護者・地域の方々、職員)で、これからも兼山の音を一緒に楽しみましょう。

### 兼山 photo collection

(学校ホームページより)



←は③最後の「礼」の場面です。「今までありがとう。」「これから頑張ります。」「…お互いへの感謝や受け継ぐ決意、いろんな気持ちが一つになった瞬間でした。」